



難波っ子

平成29年度9月号
尼崎市立難波小学校
校長 東 政信

二学期スタート 豊かな成長を！

長かった夏休みが終わり、心も体も一回り大きくなった子どもたちが戻ってきました。今年の夏休みは例年とは違い、各教室の空調設備の設置工事のために機械音が鳴り響いていましたが、やはり子どもたちの声が聞こえるというのはいいもので、学校が生きている感じがします。

さて、今日から二学期のスタートです。（9月スタートは今年で最後になります。）体育大会や図工展、更に各学年においても様々な行事が計画されており、子ども達の活躍の場が沢山あります。

一人一人が目標を持って行事に取り組むことで得意なことをさらに伸ばしたり、苦手なことや不安なことに挑戦して克服したり、与えられた役割に対して責任を持ってやり遂げ自信をつけるなど、個々の能力を伸ばしていきます。

また、学校行事を行うことは、児童一人一人の様々な能力を伸ばすことその他に、学級や学年などの中でよりよい人間関係を作り上げていく力をつけるという、大きなそして大切な目的もあります。このような力は、集団で生活する学校だからこそ身につけられる力です。日々の学習や行事に取り組む中で上手いくこともあれば上手くないこともあります。そんな時、そばに友だちがいて、お互いがいるから一緒に頑張れるという気持ちを持てるような取り組みを大切にしていきたいと思います。このような取り組みを大切にする過程で友だちの必要性や自分自身の存在を確かめることができますと考えます。

「やる気を出して、自分の力を伸ばそうとがんばれる子ども、仲間とともにがんばれる子どもを育てる」ために、まずは**学校と保護者のみなさんとがしっかりと連携・協力することが大事だ**と考えています。それぞれの行事の練習や学習などに向かってがんばっているときや良い結果が出たとき、上手くないときなど、**担任や保護者の方が誉めてあげたり、アドバイスをしてあげたり**することで子どもたちの「やる気」が出ます。

『**教育は家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、社会の教えで実を結ぶ**』と言われます。

2学期も1学期以上に、学校と家庭、地域の方々が連携・協力し合い「**元気でやる気のある、友だちを大切にする難波っ子**」を育てていきたいと思っております。担任そしてすべての教職員が子どもたちに対して、常に心を配り、子どもたちと共に歩み、子どもたちの心をよく知る教職員集団であるよう努めてまいりますので、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。